

平成28年（2016）7月 入域観光客数概況

7月の観光客数は、80万5,800人
対前年（H27）同月比 +9万1,800人、+12.9%
～7月の過去最高を更新、単月として初の80万人を超えた～

入域状況

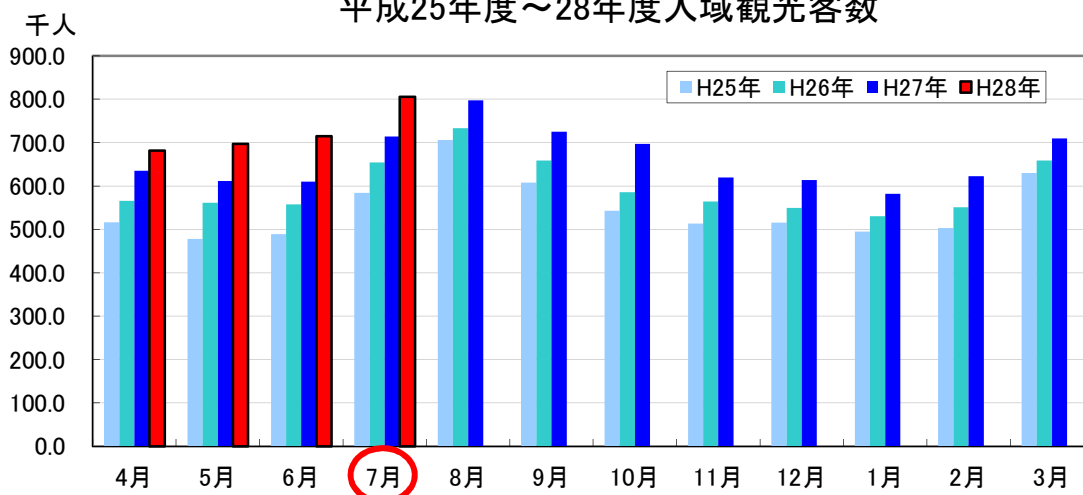
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	588,500 人	551,000 人	+ 37,500人	+ 6.8%	73.0%
外国客	217,300 人	163,000 人	+ 54,300人	+ 33.3%	27.0%
合計	805,800 人	714,000 人	+ 91,800人	+ 12.9%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	588,500 人	551,000 人	+ 37,500人	+ 6.8%	75.5%
外国客	191,100 人	143,600 人	+ 47,500人	+ 33.1%	24.5%
合計	779,600 人	694,600 人	+ 85,000人	+ 12.2%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

7月は、各航空会社及び旅行会社の販売状況が良好だったことや、東京や関西に加えて福岡、名古屋の各主要方面ともに好調だったこと、各航空会社による深夜便を含む増便等、航空路線の拡充があったこと等から前年を上回った。

8月は、夏休み旅行需要の高まりにより、各旅行会社による商品の予約状況が良好なことや、お盆期間の臨時便を含めた航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

7月は、台北－那覇及び中国・南京－那覇路線の新規就航、天津－那覇路線再開を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路ともに順調に増加、前年を上回り、3ヶ月連続で単月の過去最高記録を更新した。

8月は、夏場の旅行需要に加え、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数的大幅な増加が予定されていること等から、空路・海路ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	303,900 人	287,400 人	+ 16,500人	+ 5.7%	51.6%
関西方面	117,500 人	112,000 人	+ 5,500人	+ 4.9%	20.0%
福岡方面	68,700 人	63,500 人	+ 5,200人	+ 8.2%	11.7%
名古屋	48,000 人	42,700 人	+ 5,300人	+ 12.4%	8.2%
その他	50,400 人	45,400 人	+ 5,000人	+ 11.0%	8.6%
合計	588,500 人	551,000 人	+ 37,500人	+ 6.8%	100.0%

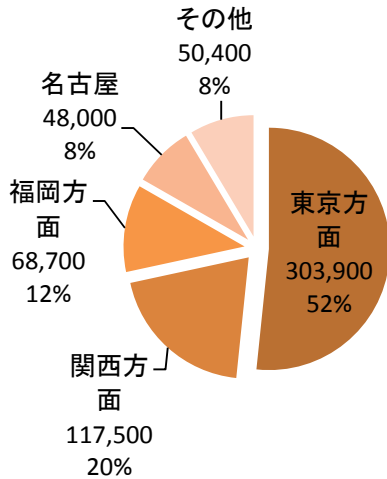
※国内海路客3,500人を含む(鹿児島2,600人、大分800人、関西100人)

外国客 国籍別入域状況

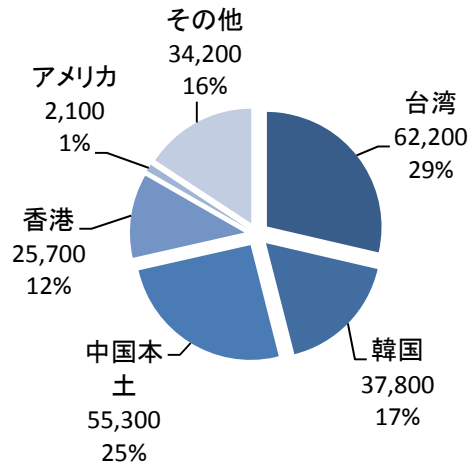
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	62,200 人	62,200 人	51,800 人	+ 10,400人	+20.1%	28.6%
韓国	37,800 人	37,800 人	21,300 人	+ 16,500人	+77.5%	17.4%
中国本土	55,300 人	55,300 人	40,700 人	+ 14,600人	+35.9%	25.4%
香港	25,700 人	25,700 人	23,000 人	+ 2,700人	+11.7%	11.8%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	1,200 人	+ 900人	+75.0%	1.0%
その他	34,200 人	8,000 人	25,000 人	+ 9,200人	+36.8%	15.7%
合計	217,300 人	191,100 人	163,000 人	+ 54,300人	+33.3%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	46,200 人	46,200 人	+22.9%	33.1%	16,000 人	16,000 人	+12.7%	20.6%
韓国	37,800 人	37,800 人	+77.5%	27.1%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	26,300 人	26,300 人	+18.5%	18.8%	29,000 人	29,000 人	+56.8%	37.3%
香港	21,800 人	21,800 人	+13.5%	15.6%	3,900 人	3,900 人	+2.6%	5.0%
アメリカ	1,800 人	1,800 人	+80.0%	1.3%	300 人	300 人	+50.0%	0.4%
その他	5,700 人	5,700 人	+35.7%	4.1%	28,500 人	2,300 人	+37.0%	36.7%
合計	139,600 人	139,600 人	+32.3%	100.0%	77,700 人	51,500 人	+35.1%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

7月は、各航空会社による深夜便を含む増便等に伴い、羽田－那覇及び離島ともに入込が増加したことや、引き続き、LCCが好調だったこと等から、前年を上回った。
8月は、夏休み旅行需要の高まりによる旅行商品の予約状況が良好なことや、引き続き、各航空会社による深夜便やお盆期間の臨時便を含めた航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

7月は、各航空会社の早期予約割引や各旅行会社の販売状況が良好だったこと、引き続き、伊丹－那覇路線の提供座席数増に伴った入込増や、離島方面が好調だったこと等から、前年を上回った。
8月は、比較的早い時期からお盆期間や離島方面の予約状況が好調なことや、夏後半の商品販売の取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

7月は、個人旅行を中心に販売状況が良好だったことや、引き続き、LCCを含む福岡－那覇路線の提供座席数増に伴った入込増等から、前年を上回った。
8月は、個人や家族向け旅行商品の予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

7月は、LCCや離島方面を中心に入込が好調だったことや、引き続き、スカイマークによる増便等、航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。
8月は、夏休み旅行需要の高まりにより、個人や家族向け旅行商品の予約状況が良好なことに加えて、ANAの夏期増便を含む航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

7月は、V Airの台北－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、定期クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
8月は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

7月は、他方面との競合が懸念されたものの、夏場の旅行需要に加え、前年同月に比べて航空路線の拡充等により、空路客を中心に前年を上回った。
8月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、9月は連休期間の那覇及び宮古へのチャーター便があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

7月は、夏場の旅行需要により、旅行商品の販売状況が良好だったことや、北京及び天津－那覇路線がいずれも好調だったこと等から、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
8月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、9月は中秋節の連休による旅行需要の高まりがあること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

7月は、個人向け旅行商品を中心に販売状況が良好だったことや、上海吉祥航空の南京－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
8月は、夏場の旅行需要に加えて、引き続き、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港予定があること等から、海路客を中心に順調に増加する見込み。

香港

7月は、香港エクスプレスの香港－石垣路線の増便を含む航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
8月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港予定があること、9月は中秋節の連休による旅行需要の高まりがあること等から、空路・海路客ともに好調に推移する見込み。